

## 基本目標等について

### 基本目標 1

#### 子どもを生み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現

＜基本方向と具体的な施策展開＞

① 安心して子どもを生み・育てられる環境の整備

妊娠期から就学期まで、行政が行う支援に限らず、民間事業者等と協力し、その活力や実行力を生かすことで、これまで以上に魅力的な子育て環境を創出します。

また、行政や民間からの子育てに関する情報を途切れることなく提供し、安心して子育てできる仕組みを構築します。

② 青梅ならではの教育環境の充実

学力の向上や情報化の推進など、教育環境を充実させ、「青梅市の学校に通わせたい」と思う人を増やすことにより、子育て世代の転出抑制と、市外からの転入促進を図ります。

また、学校教育のみならず、豊かな自然環境を生かした様々な体験等を通じて子どもの成長をサポートし、青梅ならではの教育を実現します。

### 基本目標 2

#### 青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あふれるまちを創出

＜基本方向と具体的な施策展開＞

① 農・林・商・工業の活性化

農業・林業などの第一次産業、青梅市の地域経済を支える商業・工業など、それぞれの産業分野における現状を踏まえ、地元産木材の積極的な活用や、農商工が連携した6次産業化への取組支援、空き店舗の戦略的な活用などに取り組みます。

② 魅力あふれる地域資源を生かした情報発信力の強化

市内には多くの観光客を魅了する地域資源が集積しています。これら地域資源を発掘・活用し、効果的に情報発信していくことが重要です。日本を訪れる外国人旅行者も視野に入れ、通信環境や多言語案内板の整備など、国内外を問わず、来訪者が何度も訪れたいくなるまちの創出に向け、取組の重点化を図ります。

また、「梅の里」青梅の復活を急ぎ、西部地域への人の流れを回復させるとともに、東部地域における観光拠点を面的に振興することで、市内を環流する観光ルートの創出を目指します。

③ 青梅で暮らしてみたい！を実現できる住宅環境の整備

青梅市には豊かな自然と都心部への良好なアクセス環境が整っており、住宅条件についても満足に感じる方が多く、主要な転入理由にもなっています。

新たな住宅施策による定住促進を図るとともに、空家を活用した様々な事業を展開することで、「週末市民」を定住化へと繋ぎます。

**基本目標 3**

**将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進**

＜基本方向と具体的な施策展開＞

① 時代に合った都市機能の充実

安全・安心で快適な生活を送るため、日常生活における移動手段の確保や、公共施設の機能性を高めるなど、多様な主体と連携し、生活利便性の向上に取り組みます。

また、公共施設の老朽化対策や効率的な施設管理については、地域の実情や将来の人口規模等を見据え、施設の統廃合や必要に応じた機能の複合化など、効果的かつ効率的な施設配置を進めます。

② 地域内・地域間の連携促進

自治会や消防団など、地域のコミュニティを強化することにより、市民同士の連携を促進し、安全・安心な暮らしを確保します。

また、連携の輪を、地域内にとどめることなく、自治体同士や民間団体等へ広げることにより、活発な交流や多様な連携を通じた活気にあふれるまちづくりを進めます。